下水管理センターガス検知器保守点検・整備業務 仕様書

1 目的

本業務は、東部下水管理センター及び西部下水管理センターで使用しているガス検知機が正常に機能し、適正な酸素濃度・硫化水素濃度が測定できるよう当該機器の保守点検・整備を行うものである。

2 業務履行期間

契約締結日から令和8年3月31日まで

ただし、次に示す第1期と第2期にそれぞれ指定した点検・整備等の作業を行うこと。

(1) 第1期

契約締結日から令和7年10月31日まで

(2) 第2期

令和7年11月1日から令和8年3月31日まで

3 保守点検・整備対象機器及び数量

品名	規格・形式	メーカー	数量
ポケットブルマルチガスモニター	G X-2009 タイプA	理研計器(株)	16台
ガス吸引用ポンプユニット	G X-2009 用 RP-2009	理研計器(株)	16台

4 保守点検・整備対象機器の保管場所

(1) 東部下水管理センター

住所：札幌市白石区本通20丁目北2番11号（TEL011-865-7121）

(2) 西部下水管理センター

住所：札幌市西区八軒9条西7丁目1番30号（TEL011-641-8671）

5 保守点検・整備の時期及び数量等

(1) 第1期

保管場所（所管課）	品名	台数	計
東部下水管理センター	ポケットブルマルチガスモニター	4台	8台
	ガス吸引用ポンプユニット	4台	
西部下水管理センター	ポケットブルマルチガスモニター	4台	8台
	ガス吸引用ポンプユニット	4台	

(2) 第2期

保管場所（所管課）	品名	台数	計
東部下水管理センター	ポケットブルマルチガスモニター	5台	10台
	ガス吸引用ポンプユニット	5台	
西部下水管理センター	ポケットブルマルチガスモニター	3台	6台
	ガス吸引用ポンプユニット	3台	

6 保守点検・整備の内容

点検・整備の対象となるガス検知機をそれぞれの保管場所から搬出し、次の点検及び整備（部品交換等を含む。）を行ったうえで、それぞれの保管場所に搬入すること。

(1) 構造・機能点検

ア 外観点検

ガス検知器本体・ポンプの変形・破損状況を確認する。

イ 警報動作

警報作動時に正常なランプ点滅及びブザー鳴動を確認する。

ウ 復帰動作

警報作動時にリセットスイッチにより、ランプ及びブザーの停止を確認する。

(2) 性能点検

ア 零点調整

校正ガスを流し、ガス検知器の指示を零点に合わせる。

イ 指示調整

検知部に標準ガスを与え、指示誤差が精度内になるように次の感度調整をする。

- ・酸素
- ・可燃性ガス
- ・硫化水素
- ・一酸化炭素

ウ 警報設定値

各測定器の警報点を確認する。

エ 警報遅れ時間

オ 吸引流量

(3) 指定交換部品

ア 4成分センサー

イ ポンプ RP-2009

7 提出書類

(1) 着手時

ア 業務着手届

(2) 第1期及び第2期の業務完了時

ア 業務完了届

イ 交換部品を含めた保守点検・整備の結果(任意様式)※成績表等

8 委託費の支払

委託費は総価契約とし、第1期及び第2期の業務完了後に検査を行い、合格したときは期間ごとの契約金額の支払を請求することができる。(期間ごとの支払い比率は下表のとおり)

ただし、具体的な請求方法については、委託者の指示に従うこと。

支払内訳表

回	期 間	支払比率
1	第1期（契約締結日～令和7年10月31日）	50%
2	第2期（令和7年11月1日～業務完了日）	50%

※各回に1円未満の端数がある場合は、全て初回に支払うものとする。

9 環境に配慮した業務履行

本業務においては、本市の環境マネジメントシステムに準じ環境負荷低減に努めること。

10 その他留意事項

- (1) 契約締結後、直ちに本市業務担当者と保守点検・整備の具体的な作業日程（機器の搬出・搬入日等）を協議し決定すること。
- (2) 保守点検の結果、指定交換部品以外に交換が必要と判断された部品がある場合は、委託者に報告し、交換等の実施について協議を行なうこと。
- (3) 機器の点検・整備等において、メーカー自らが実施しなければ機器の性能保証が得られない項目については、メーカーに実施させること。
- (4) この仕様書に定めのない事項については、委託者と協議を行うこと。

11 担当課

下水道河川局事業推進部東部下水管理センター

（札幌市白石区本通 20 丁目北 2 番 11 号 Tel011-865-7121）